

文化庁委託事業「平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

演出家・俳優育成セミナー2018

演劇大学 in 大阪 2018



2019年1月17日(木)~31日(木) 19:00~21:00

日本の刑事裁判は
有罪率99.9パーセント。
なぜ「えん罪」は起きるのか?
なぜ「えん罪」は表現者として、
私達は表現者として、
司法の闇に
光を当てられるのか。

「えん罪」を語る・問う・観せる

第1回
今村 核

Kaku Imamura

2019年1月17日(木) 19:00~21:00

えん罪と裁判~証明の科学化を考える~

第2回

平石 耕一

Koichi Hiraishi

2019年1月24日(木) 19:00~21:00

報道被害~松本サリン事件~

第3回

金聖雄

Kim Sungwoong

2019年1月31日(木) 19:00~21:00

えん罪事件を描くということ

「演劇大学 in 大阪」では2016年、2017年と2年続けて「表現の自由と私たちの演劇をタイトルに掲げ、「民主主義が存在する社会」について、さまざまな分野で活躍する有識者をお招きし、関西を拠点に活動する演劇人・表現者との対話の場を設けてきました。3年目となる2018年度は、一つのテーマに沿った講座を企画し、今一度自分たちのコトバを見つめ直し、再認識したいと考えています。2018年度のテーマは、「えん罪」。有罪率99.9%という日本の刑事裁判。えん罪事件は日本の刑事司法の闇が生み出す重大な問題として語られてきました。ですが現在でも「実際に、どうやってえん罪被害者を救うか?」という具体的なところには、話が及ぶ機会は少ないように思います。演劇は、「えん罪」によって人生を奪われた人々に、どのような力を発揮できるのか? 検討したいと思います。

会場:ドーンセンター5F 視聴覚スタジオ (大阪市中央区大手前1-3-49)

参加費:500円 (協会員・高校生以下無料)